

廃棄物処理や水処理など環境関連設備等の利便性の向上に貢献する各種レベル計測器を提供！

顧客ニーズに応じたカスタマイズ、アフターサービスが充実

1. 技術の概要

日本で唯一、「パルスレーダー方式マイクロ波レベル計」の国産化に成功した企業です。「パルスレーダー方式マイクロ波レベル計」は、タンクやサイロなどに貯蔵された内容物の在庫量を計測する非接触レベル計の一種で安定した測定が可能であり、鉱石やフライアッシュ、セメントサイロなどの各種粉体貯蔵タンクやごみ焼却炉などの高温環境で利用されています。

他にも、セメント工場、製粉工場、化学工場、清掃工場、製鉄所などの環境関連施設等のバグフィルターからの粉塵の漏れ・破れ検知などを行う「摩擦電荷方式ダストモニタ」の製造などを行っています。

2. 技術の強み

摩擦電荷方式ダストモニタ

● 低コストでハイパフォーマンスな粉塵濃度計

自社開発製品で一貫して製造できる技術を有しているため、低コストで安定した性能と短納期を実現。また、計測性能も優れており産業界で高い評価を獲得しています。

加えて、専門的な知識が不要で調整が簡単。0～1,000mg/m³までの濃度計測が可能。廃棄物処理やごみ処理場、鉄鋼、セメント工場などで広く測定技術を提供しています。



↑「摩擦電荷方式ダストモニタ」ダストモニタは、粒子径0.3～100μmまでの全ての粉体の検出が可能。250℃、200kPaまで標準対応

パルスレーダー方式マイクロ波レベル計

● カスタマイズ、アフターサービスが充実したレーダー式レベル計

国・地域や顧客に合わせて、各製品のカスタマイズを丁寧に実施。顧客のニーズ・課題に応じてレベル計の分野で様々な提案が可能な体制を構築しています。

加えて、海外においても、インターネット経由で、遠隔操作にてパラメーターの設定や各種のアフターサービスにも迅速に対応可能。最長70mまで計測可能で、鉄鋼、セメント、鉱山等の分野で活躍しています。

→「パルスレーダー方式マイクロ波レベル計」センサより発信されたレーダー波パルスの測定物からの反射波を測定して距離を計測



3. 用途・想定ユーザー

- 「パルスレーダー方式マイクロ波レベル計」は様々な粉体・液体の測定が可能であり、フライアッシュや小型サイロなどの各種粉体貯蔵タンクやごみ焼却炉、鉱山関係などに利用されています。
- 「摩擦電荷方式ダストモニタ」は、集塵関連施設等の大気汚染環境管理に役立ちます。

企業データ

株式会社 マツシマメジャテック

(代表者) 代表取締役社長 松島徹
 (設立年月) 昭和21 (1946) 年1月
 (資本金) 3,500万円
 (連絡住所) 福岡県北九州市八幡西区則松東1丁目8-18
 (電話/mail) 093-691-3731 / sales@matusima.co.jp
 (企業ホームページ) <http://www.matusima.co.jp/>
 (主な海外拠点) バンコク駐在員事務所 (+66-2-656-1541) 他

メッセージ

ASEANを含む海外市場に積極的に展開しています。主なユーザーは鉱山、セメント、食品、化学、鉄鋼分野と広い業界です。サービス体制も万全で、ASEANを中心とした、広い地域での販売パートナーを募集しています。(取締役 営業担当 山田雅彦)
 (写真: 代表取締役社長 松島徹)



松島徹